

平成 25 年 11 月 25 日
一般社団法人 新金属協会
化合物半導体部会
部会長 井上 修
住友金属鉱山株式会社
結晶材料統括部長

平成 25 年度上期の化合物半導体の出荷統計について

平成 25 年度上期（平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月）の化合物半導体材料の出荷統計が集計できましたので別紙の通り発表いたします。

[全体]

平成 25 年度上期の出荷額は、対前年同期比 103%の 149 億円となった。結晶別では、対前年同期比で主要 3 品目のうち GaP のみ減少となったものの GaAs で増加、InP で横ばいとなった結果、金額で 4 億円の増加となった。平成 24 年度下期比では、GaAs で増加、GaP、InP は横ばいとなり、金額で 21 億円の増加、116%となった。

[GaAs]

平成 24 年度上期に比べると、国内販売が減少し輸出が増加した結果、全体としては、対前年同期比 108%の 114 億円となった。平成 24 年度下期比では国内販売、輸出ともに回復し全体で 123%となった。

[GaP]

平成 24 年度上期に比べると、国内販売、輸出とも減少し、全体としては、対前年同期比 76%の 14 億円となった。平成 24 年度下期比では、国内販売が増加したが輸出が減少し、全体としては横ばいとなった。インジケータを中心とした汎用 LED 市場は中国製 AlInGaP 系 LED へほぼ切り替わり、今後は車載や適度な輝度に特化した現在の市場規模を維持すると推察している。

[InP]

平成 24 年度上期に比べると、国内販売が減少し輸出が増加した結果、全体としては、対前年同期比並みの 17 億円となった。平成 24 年度下期比では国内販売が減少したが輸出が増加し、全体としては横ばいとなった。平成 25 年度上期については、前年に引き続きスマートフォン、クラウドコンピューティング等の普及による通信量の増大を背景に、InP の主な用途である光通信用部品の所要が堅調に推移した結果と推察している。

<お問い合わせ先>

住友金属鉱山株式会社

材料事業本部 材料第一事業部

結晶材料部 技術グループリーダー

柿本 実行

電話 0428-31-2130 Fax 0428-31-1196

e-mail : Mitsuyuki_Kakimoto@ni.smm.co.jp

(一社)新金屬協会
化合物半導體部会

用途別年次統計

(単位：百万円)

用途 年度	可視LED		赤外LED		LD		電子デバイス		その他		合計	
	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
2010 (H22)	4,204	97%	4,513	129%	4,110	112%	5,105	118%	981	138%	18,913	114%
	8,544	101%	2,106	116%	1,507	136%	7,968	105%	1,540	118%	21,665	107%
	12,748	100%	6,619	125%	5,617	118%	13,073	110%	2,521	125%	40,578	110%
2011 (H23)	3,773	90%	3,776	84%	3,485	85%	3,485	68%	815	83%	15,334	81%
	5,840	68%	1,818	86%	1,545	103%	7,511	94%	1,210	79%	17,924	83%
	9,613	75%	5,594	85%	5,030	90%	10,996	84%	2,025	80%	33,258	82%
2012 (H24)	1,891	50%	2,823	75%	1,919	55%	2,128	61%	447	55%	9,208	60%
	5,008	86%	3,561	196%	1,788	116%	6,570	87%	1,240	102%	18,167	101%
	6,899	72%	6,384	114%	3,707	74%	8,698	79%	1,687	83%	27,375	82%
2013 (H25)	1,005	53%	1,501	53%	970	51%	855	40%	194	43%	4,525	49%
	2,337	47%	2,129	60%	1,105	62%	4,026	61%	804	65%	10,401	57%
中間集計	3,342	48%	3,630	57%	2,075	56%	4,881	56%	998	59%	14,926	55%